

建設工事指名願、

物品見積競争参加

受付は3月2日～19日

建設工事指名願

平成四年度の南国市が行う建設工事等の「指名競争入札参加審査申請書（指名願）」の受付は、3月2日から3月19日までです。

様式は、市内、県内業者は県指定様式、県外業者は建設省統一様式です。市内業者は、市税納税証明書添付してください。証明書（一部200円）は税務課税務管理係で発行しています。また、経営事項審査を受けた業者はその通知書の写しを添付してください。

申し込みは、財政課財政係まで。郵便でも受け付けます。なお、水道工事については、水道局へも別途提出が必要で

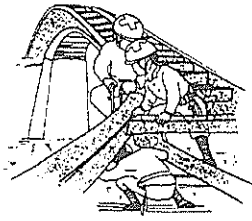
物品見積競争参加

平成四年度の南国市が購入する物品の競争見積参加の申請書の受付は、3月2日から3月19日までです。

物品購入（印刷、修繕を含む）の入札に参加を希望する方は、財政課まで提出してください。申請書は財政課で交付します。

※受付は隔年度制のため、四年度のみ追加受付です。三年度申請している方は必要ありません。ただし、申請内容に変更が生じたときは、そのつど変更の手続きが必要です。なお、詳しいことはそれぞれの係でお尋ねください。

◎財政課財政係（〒783 南国市大浦甲一三〇一 市役所内線412）
◎水道局（〒783 南国市大浦甲一九六〇―一二三三四）



部落差別は、明治以後なぜ

残されてきたのでしよう⑨

改善運動から融和運動へ③
一九〇四～五（明治二十七八）年の日露戦争のあと、第二次産業革命が進み、資本主義社会へと発展していきま

した。これに伴って、都市部では労働争議・農村部でも小作争議が全国各地で続発しました。

また、戦争のための増税は国民生活を一層苦しくさせ、政府の弾圧にもかかわらず、社会主義運動への関心が高まってきました。

こうした社会の動きにおき

同和教育シリーズ

政府はこのような運動が部落と結び付くことを警戒して治安維持の立場から部落に目を向けるようになり、一九〇七（明治四十）年に全国の部落の調査を行い、改善運動に奨励金を交付し、模範部落や改善功労者を表彰するなど、この運動を推進しました。

内務省が部落問題を担当したことからも分かるように、政府の部落問題への姿勢は部落解放のためではなくて、国内の治安維持の立場からかわってきたのです。

大正時代に入ると、部落の人々による自主的な改善運動はますます盛んになってきま

た。この組織は、政府の強力な指導のもとに各県に支部が結成され、各市町村に下部組織がつくられて運動がすすめられました。しかし、このような内部改善運動や同情融和の運動だけでは、部落の貧しさは少しも改善されず、また国民大衆の部落に対する厳しい差別はいっこうに解消されませんでした。

一九一三年（大正二年）八月になると、山口県の僧侶、岡本道寿の提唱で高知県出身の大江天也（卓）や板垣退助らが中心となって、半官半民の「帝国公道会」が結成されました。この会の主旨は「部落は明治天皇の御聖慮によって解放されたものである」とし、天皇制国家発展のため部落を改善しようとする施策でした。

この会はまた、部落差別の原因を部落側に求め、部落の人たちが自分たちの生活を自主的に改善する運動をすすめているので、部落外の人たちも部落の人たちに「同情して受け入れてやる」という同情融和の考え方を広げるための組織でした。

この組織は、政府の強力な指導のもとに各県に支部が結成され、各市町村に下部組織がつくられて運動がすすめられました。しかし、このような内部改善運動や同情融和の運動だけでは、部落の貧しさは少しも改善されず、また国民大衆の部落に対する厳しい差別はいっこうに解消されませんでした。